



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月25日

上場会社名 株式会社 ピエトロ

上場取引所 東

コード番号 2818 URL <https://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 泰行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・IR部長 (氏名) 森山 勇二

TEL 092-724-4925

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	5,074	2.8	410	37.5	408	38.8	258	67.2
30年3月期第2四半期	4,936	4.8	298	23.9	294	21.2	154	32.7

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 269百万円 (75.0%) 30年3月期第2四半期 154百万円 (22.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	42.55	
30年3月期第2四半期	24.72	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	8,941	5,289	59.2	870.76
30年3月期	8,979	5,141	57.3	846.40

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 5,289百万円 30年3月期 5,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		20.00	20.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,120	5.2	620	19.6	600	17.6	350	22.9	57.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	6,257,230 株	30年3月期	6,257,230 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	182,369 株	30年3月期	182,368 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	6,074,862 株	30年3月期2Q	6,256,701 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会及び四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成30年10月25日(木)及び26日(金)にアナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。四半期決算補足説明資料については、説明会当日に会場にて配布いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果もあり、企業業績や雇用環境に改善が見られ、緩やかな景気回復基調で推移しております。しかしながら、原材料費や人件費の上昇などの要因により、個人消費は緩やかに持ち直してはいるものの力強さに欠けた状況で推移しております。

食品業界及び外食業界におきましては、消費者の根強い低価格志向などの生活防衛意識が強まるなかで企業間競争も激化し、お客様の品質や安全・安心を求める選別消費の傾向が強まり、豪雨、猛暑、台風など自然災害の影響もあり、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、「おいしさと健康」を追求した高付加価値商品のご提供や、消費者のニーズの多様化への対応をとおして、ブランド価値の向上に努めてまいりました。

食品事業では、新商品やリニューアル商品の積極的な販売を行い、レストラン事業では、グランドメニューの刷新やフェアメニュー展開を行いました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、50億74百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

利益面では、売上高の増加により売上総利益が増加し、更に営業利益は、販売費及び一般管理費が前年同期比1.9%減少したこともあり、4億10百万円（前年同期比37.5%増）、経常利益は4億8百万円（前年同期比38.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億58百万円（前年同期比67.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①食品事業

今期の経営方針である「ドレッシングで新しいマーケットの創出、既存商品の拡販継続」、「パスタ事業強化」などにより、より一層の試食販売の強化や定番商品売り場の拡大に努め、積極的な売上拡大を図ってまいりました。

ドレッシング事業は、夏場の野菜高騰の影響を受け、主力商品「和風しょうゆドレッシング群（オレンジキャップ、グリーン、ライトタイプ）」が伸び悩み、終売商品による売上高の減少の影響もありましたが、前期発売いたしました「焙煎香りごま」と新商品として発売しました「レモンとたまねぎ」が売上高の増加に大きく貢献し、前年並みの売上高を確保いたしました。

パスタ事業は、前年同期比145.0%と増加しました。この増加要因としましては、リブランディング商品である「おうちパスタ」シリーズが前年同期比213.5%と売上を伸ばしたことによるものです。

一方、販売費及び一般管理費では、新商品や育成商品の導入に伴う販促関連費用が増加しました。

以上の結果、売上高は36億31百万円（前年同期比2.1%増）、セグメント利益は10億34百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

②レストラン事業

当第2四半期連結累計期間は「レストラン事業の黒字化」のもと、売上拡大と利益改善を図ってまいりました。平成30年4月にグランドメニューを改定し、メニュー数は絞り込みましたが、ランチメニューの多様化、サラダメニューの充実や健康メニューの強化を図りました。おいしさにこだわるとともに、顧客サービスの向上に努め、さらに、サラダに使う生野菜をすべて国産に切り替えました。また、平成30年9月からは、「カルボナーラフェア」を実施し例年以上の好評をいただいております。ディナーメニューとしては、「パスタだけではなく、様々な食事シーンの提案」、「種類や量を選べるパスタ」、「デザート、ドリンク強化」を行いメニューの充実を行いました。

売上高は、閉店による売上高減少の影響額83百万円がありましたが、既存店舗が来客数及び客単価ともに前年同期を上回るとともに、ミスタードーナツ事業の貢献もあり、増収となりました。

利益面では、直営店舗売上高の増加に伴い売上総利益が増加し、個店別に細かな原価を含めた経費管理を行ったことと、不採算店の閉店効果もあり、収益が改善でき黒字化が達成できました。

以上の結果、売上高は13億60百万円（前年同期比5.1%増）、セグメント利益は41百万円（前年同期は36百万円のセグメント損失）となりました。

③その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、売上高は83百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益は45百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ38百万円減少し、89億41百万円となりました。これは主に現金及び預金が93百万円、原材料及び貯蔵品が22百万円増加する一方、流動資産のその他が1億15百万円、有形固定資産が29百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ1億86百万円減少し、36億51百万円となりました。これは未払法人税等が1億2百万円増加する一方、短期借入金の返済1億50百万円、長期借入金（1年内含む）が92百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ1億48百万円増加し、52億89百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億21百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益2億58百万円の計上によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ82百万円増加し、16億6百万円となりました。この主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、各事業ともに売上が好調だったことと前期は前社長の死去に伴う役員退職慰労金の支払いがあったことなどにより、前年同四半期が85百万円の支出に対し6億11百万円増の、5億25百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が増加したことと前期は定期預金の解約や保険積立金の取崩しによる収入があったため、前年同四半期が6億18百万円の収入に対し、52百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済による支出があったため前年同四半期に比べ1億40百万円支出が増加し、3億89百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,456,338	1,549,973
預け金	68,634	72,200
売掛金	1,471,208	1,462,742
商品及び製品	99,914	103,013
仕掛品	4,087	4,017
原材料及び貯蔵品	112,322	134,342
その他	271,828	156,344
貸倒引当金	△3,943	△4,088
流動資産合計	3,480,391	3,478,545
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,084,435	2,066,378
土地	2,006,202	2,006,202
その他(純額)	649,420	637,879
有形固定資産合計	4,740,058	4,710,459
無形固定資産	32,950	35,028
投資その他の資産		
敷金及び保証金	403,147	402,959
保険積立金	68,764	86,175
その他	275,165	248,974
貸倒引当金	△20,974	△20,908
投資その他の資産合計	726,102	717,201
固定資産合計	5,499,111	5,462,689
資産合計	8,979,502	8,941,235

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	539,233	536,374
短期借入金	1,500,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	158,266	136,554
未払金	559,426	530,305
未払法人税等	12,843	115,799
賞与引当金	46,480	60,189
その他	329,976	266,355
流動負債合計	3,146,225	2,995,578
固定負債		
長期借入金	287,632	216,838
役員退職慰労引当金	131,207	145,522
退職給付に係る負債	67,494	73,951
資産除去債務	79,319	78,958
その他	125,878	140,623
固定負債合計	691,531	655,893
負債合計	3,837,756	3,651,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,042,389	1,042,389
資本剰余金	1,074,635	1,074,635
利益剰余金	3,301,523	3,438,523
自己株式	△302,893	△302,895
株主資本合計	5,115,655	5,252,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,790	41,491
為替換算調整勘定	△2,699	△4,382
その他の包括利益累計額合計	26,090	37,109
純資産合計	5,141,745	5,289,762
負債純資産合計	8,979,502	8,941,235

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	4,936,836	5,074,978
売上原価	1,956,193	2,033,107
売上総利益	2,980,642	3,041,870
販売費及び一般管理費	2,682,086	2,631,285
営業利益	298,556	410,585
営業外収益		
受取利息	158	166
受取配当金	914	888
為替差益	29	459
その他	965	2,231
営業外収益合計	2,068	3,745
営業外費用		
支払利息	4,763	4,134
その他	1,283	1,269
営業外費用合計	6,047	5,404
経常利益	294,577	408,926
特別利益		
固定資産売却益	—	433
受取保険金	170,785	—
会員権売却益	—	129
特別利益合計	170,785	562
特別損失		
固定資産除却損	408	2,837
減損損失	8,164	7,536
役員退職慰労金	177,366	—
その他	1,700	—
特別損失合計	187,638	10,374
税金等調整前四半期純利益	277,724	399,115
法人税、住民税及び事業税	21,943	96,215
法人税等調整額	101,130	44,402
法人税等合計	123,074	140,618
四半期純利益	154,649	258,497
親会社株主に帰属する四半期純利益	154,649	258,497

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	154,649	258,497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,031	12,701
為替換算調整勘定	△3,655	△1,682
その他の包括利益合計	△624	11,018
四半期包括利益	154,025	269,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	154,025	269,516

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	277,724	399,115
減価償却費	152,192	141,494
減損損失	8,164	7,536
貸倒引当金の増減額(△は減少)	651	78
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,878	13,708
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△584,104	14,315
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,347	6,457
固定資産売却損益(△は益)	—	△433
固定資産除却損	408	2,837
受取保険金	△170,785	—
受取利息及び受取配当金	△1,073	△1,055
支払利息	4,763	4,134
売上債権の増減額(△は増加)	△110,028	8,340
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,121	△25,159
仕入債務の増減額(△は減少)	101,730	△2,672
未払金の増減額(△は減少)	131,279	△57,020
未払消費税等の増減額(△は減少)	63,538	△46,336
その他	△31,188	△7,429
小計	△157,622	457,911
保険金の受取額	170,785	—
法人税等の支払額	△99,092	△12,874
法人税等の還付額	—	80,332
営業活動によるキャッシュ・フロー	△85,929	525,369
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,000	△15,000
定期預金の払戻による収入	435,005	—
有形固定資産の取得による支出	△30,650	△60,844
有形固定資産の売却による収入	—	556
無形固定資産の取得による支出	△2,040	△2,500
投資有価証券の取得による支出	△1,870	△1,643
会員権の売却による収入	1,200	2,129
敷金及び保証金の回収による収入	2,893	44,814
敷金及び保証金の差入による支出	△306	—
貸付けによる支出	—	△2,000
長期前払費用の取得による支出	△1,892	△757
保険積立金の積立による支出	△16,120	△17,411
保険積立金の払戻による収入	260,279	—
長期預り金の返還による支出	—	△1,829
長期預り金の受入による収入	580	739
利息及び配当金の受取額	1,067	1,055
投資活動によるキャッシュ・フロー	618,145	△52,691
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△150,000
長期借入金の返済による支出	△100,822	△92,506
リース債務の返済による支出	△18,342	△21,357
自己株式の取得による支出	—	△1
配当金の支払額	△124,818	△121,197
利息の支払額	△4,537	△4,134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△248,520	△389,197
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,120	△1,280
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	282,574	82,200
現金及び現金同等物の期首残高	1,193,533	1,524,371
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,476,108	1,606,572

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	3,558,107	1,295,116	83,612	4,936,836	—	4,936,836
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	974	974	△974	—
計	3,558,107	1,295,116	84,587	4,937,811	△974	4,936,836
セグメント利益 又は損失(△)	1,070,618	△36,300	45,716	1,080,034	△781,477	298,556

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は781,477千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては8,164千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	3,631,419	1,360,556	83,002	5,074,978	—	5,074,978
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	389	389	△389	—
計	3,631,419	1,360,556	83,391	5,075,367	△389	5,074,978
セグメント利益	1,034,498	41,594	45,629	1,121,722	△711,137	410,585

(注) 1 セグメント利益の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は711,137千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては7,536千円であります。